

● 高槻家族講座 (2010年6月12日(土))



高槻市にゆかりのある企業のご協力を得ている本講座は、シリーズ第2弾「食の楽しみ」をテーマに、第1回「もっと食べよう、米粉食品」(通算3回目)ではお米で作る食品について

グリコ栄養食品株式会社様から、また、砂糖の働きについて大阪樟蔭女子大学の北尾 悟先生からご講演いただきました。小学生対象の「こども体験コーナー」では、米粉を使ったカレーパン作りを体験し、参加希望者多数のなかたいへん好評を博しました。

● シンポジウム (2010年7月3日(土))

第3回シンポジウムを大阪薬科大学で開催しました。関西大学 西山豊先生より関西大学の6つの産学官連携の紹介と活動目標を、大阪医科大学の中野隆史先生より新しい医療廃液処理法という医工薬の連携がないと実現できない研究テーマについてご講演いただきました。また、岐阜大学 北出幸夫先生には先端創薬研究センターの紹介と連合大学院の特色ある教育課程と将来展望について、早稲田大学 梅津光生先生には先端生命医学センター(TWIns)の紹介と医理工連携による研究成果についてご講演いただきました。



取組み参加者の声

広島県立広島観音高等学校 教諭 岩屋 道子

昨年、小学校への出張講義に参加して、私は教えることの難しさを改めて実感しました。小学生に対して実験を行うことは、私にとって初めての体験でした。そのため、どの程度噛み砕いて説明したらわかってもらえるのかを、考えて実践することに苦労しました。また、教えるためには十分な知識を必要とすることも再認識しました。これらのことは、私の現在の仕事(高等学校 理科・生物担当)の上で、とても良い経験になったと思っています。



機構のこれから



副機構長
大阪薬科大学薬学部 教授

辻坊 裕
Tsujibo Hiroshi

関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学が共同して発足させた三大学医工薬連環科学教育研究機構は、設置されて早や一年を迎えようとしています。我々は、教育課程ならびに教育支

援システムを構築し、教育環境の整備を図る目的で、これまでに遠隔講義システムを活用した双方向授業により単位互換を実施してきました。現在、三大学の既存の授業科目とともに、「医工薬連環科学」に相応しいオムニバス形式授業の設置や共通教科書の作成ならびに教育・研究に重点をおいたシンポジウムなどを計画しているところです。また、地域への社会還元活動としての小学校へ出張講義、高槻家族講座、市民講座などについても質的・量的に改善しなければなりません。今後も「医工薬連環科学」教育・研究のあり方について議論を深め、その具現化に向けて更なる改善を図りたいと考えています。

2010年9月から2011年3月までの予定

三大学間双方向授業 秋学期8科目
運営協議会、部門別会議、運営協議会専門部会 適宜開催
他大学訪問調査(9月他)
シンポジウム開催(10月2日、2月26日)
高槻家族講座(10月9日(こども体験コーナー)、16日(講演))
大学教育改革プログラム 合同フォーラム参加(1月24~25日)

(小中学生対象)自由研究コンテスト
(募集期間:9月1日~7日)
(第2次審査発表会:11月28日)
(小中学生対象)出張講義



関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学
医工薬連環科学教育研究機構

<http://www.kansai-u.ac.jp/mpes-3U/>

代表校/関西大学

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
TEL. 06-6368-1215 FAX. 06-6368-1216
E-mail: contact-mpes@ml.kandai.jp

連携校/大阪医科大学

〒569-8686 大阪府高槻市大学町 2-7
TEL. 072-683-1221(代表) FAX. 072-684-6884
E-mail: gakumu@art.osaka-med.ac.jp

連携校/大阪薬科大学

〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原 4-20-1
TEL. 072-690-1028 FAX. 072-690-1005
E-mail: ikouyaku@gly.oups.ac.jp